申第18号「新幹線ネット予約システムにおける身体障害者割引の適用に関する申し入れ」について会社は組合と団体交渉をせずに窓口で回答!

本部は11月11日に申第18号、「新幹線ネット予約システムにおける身体障害者割引の適用に関する申し入れ」を申し入れを行いました。会社はホームページで、身体障害者割引の利用について「係員が身体障害者手帳等の本通を拝見し、本人確認を厳正に確認させていただく」「『エクスプレス予約』では本人確認ができない」などを理由に、身体障害者割引をご利用される場合には、駅の窓口で購入することとしています。組合は障害者には特に優しくしなければならないと考えています。従って、ネット予約システムで身体障害者割引の適用が実現するよう申し入れものでした。

組合はこの間申し入れ提出以降、早急な団体交渉の開催を求めましたが、会社は団体交渉事項でないことを理由に、組合と団体交渉を開催せず、組合は会社の団体交渉拒否を確認し、11月30日に窓口での回答をしました。

会社回答と議論内容は以下の通りです。

《申第18号と会社回答》

1. 東海道・山陽新幹線のネット予約サービス「エクスプレス予約」及び「スマートEX」で身体障害者割引が適用できない理由、根拠を明らかにすること。

【回答】

身体障害者割引の適用にあたっては、切符購入時の身体障害者手帳の提示による割引資格の確認を行っており、EXプレス予約及びスマートEXでは、この確認が行えないことから身体障害者割引の適用した切符を発売していない。

2. 「令和3年度運営方針について」の経営協議会で、会社が営業施策の強化として打ち出した「東海道新幹線のネット予約を多くのお客様にご利用いただけるよう取り組みます」としていることについて、お体の不自由な利用者を考慮しているのか明らかにすること。

【回答】

EXサービスを通じた車椅子対応座席のWEB予約の試行を、東海道・山

陽新幹線「のぞみ」対象に2021年5月20日乗車分から実施している。

3. 「エクスプレス予約」及び「スマートEX」で身体障害者割引が適用できるようなシステムを改修すること。

【回答】

現時点では身体障害者割引が自動的に適用される機能をEXサービスで導入する予定はない。

《主なやりとり》

組合：回答で「導入する予定はない」では、あいかわらず窓口で足を運ばなければならない。

会社：乗車券についてはそうである。e特急券はエクスプレス予約でネット予約できる。

組合：しかし、JR東日本、ANAやJALは窓口に行かずともネット予約システムを確立している。我が社も後れを取ってはいけない。ましてやJR東海社員についても社員証をスマートEX化して来年度にはネットで購入できるシステムに改修しようとしている。エクスプレスやスマートEXの登録時に手帳番号をあらかじめ登録すれば、乗車券もネット予約は可能ではないのか。

組合：身障者の方がいちいち窓口に来るのは忍びないし、時代に逆行していることである。

会社：意見はあると思うが、現時点では考えていない。

組合：身障者に対して優しさを持つ考え方を優先せよ。社会もネット社会である。時代はバリアフリーが当たり前である。登録時に番号等でわかる。

会社：番号だけでは判断できない。手帳の種別もある。

組合：手帳の種別を数値化して登録してもらえば良い。。。

会社：意見として伺う。他社はどのようにやっているか分からない。

組合：分からないではなく、他社のシステムを見習え。我が社はN700S車両を車椅子対応座席を6席とした。

会社：座席予約、特急券はネット予約できる。

組合：乗車券購入もネット予約システムに改修して、身障者に優しいJR東海を売り出せ。会社は運営方針に関わる経営協議会の中で「東海道新幹線のネット予約を多くのお客様にご利用いただけるよう取り組みます」胸を張って主張していたのではないか。主張に責任を持って。

組合：障害者差別法が2021年5月に成立し、2024年には義務化される。その前に身障者に優しいJR東海を今から準備すべきである。従って身体障害者割引の乗車券もネット購入を実現せよ。N700S車両を車椅子対応座席を6席としたのだから、乗車券のネット予約購入出来るシステムに改修せ

よ。

会社：意見は伺う。車椅子対応座席を6席としたのは評価して欲しい。

組合：座席を増やしたのはいいが、身体障害者割引の乗車券もネット購入出来ないのは不十分である。早急に乗車券のネット予約購入出来るシステムに改修せよ。

以 上